

# 障がい特性理解から始まる 発達障害（ASD）の人への支援

20230214

発達障害者支援センターあおいそら  
センター長 片山 智博



世界  自閉症  
啓発デー  
Autism Awareness Day

# 最近ちよくちよく耳にすること

- 特性の話はもういいよね
  - いつまで特性理解の話するの？
  - コンテンツは山ほどある 等々
- 確かに と思う部分もあるが
- 特性を理解しているとは思えない現場（支援者）もある

情報としては知っていても 問題を分析するときや  
支援を組み立てるとき等に その情報が使われてない？

# 発達障害支援（ASD）のキーポイント

分かっていない ことを分かってあげられるかどうか



特性を踏まえ「どう分かってないか仮説」を立てられる

➔ **特性を理由に説明できる仮説**



特性を理解していることが重要になる



# 成人 ASD + 知的障害重度 男性の例

夜中でも 平日でも週末でも 天候や季節を問わず  
帽子とカバンを持ってきては外出を求める  
断ると暴れるため 高齢の両親は交代で本人を車に乗せ  
小1時間のドライブに出かける  
時には小1時間では納得せず 2～3時間に及ぶことや  
一日に複数回要求してくるときもある  
それが何年も続いており  
両親は疲弊し 生活が崩壊しつつある

# よく聞かれる見立てや解釈や対応方針

『「今日は、お父さんもお母さんも体調が良くないからドライブはいけないんだよ ごめんね」って言うと、分かってくれる時もあるんです』

『ほかのことに誘ったら 納得してくれることもあるんですけど どうしても行きたい時もあるみたいで・・・』

『頭では分かっても 気持ちがおさまらないみたいで・・・』

- ➔ このように「分かっている」という前提で語られることが多い
- ➔ 本人サイドの問題という見立てになっていることが多い

# 小学校5年生 ASD（未診断） 高機能 男児の例

給食の時に

おかわりがしたくて  
苦手なものを急いで食べていたが

他児に先を越され  
おかわりが無くなったことに

ブチ切れて 机と食器類をひっくり返し  
泣きわめき  
ラス1をゲットした他児を罵り  
つかみかかり 止められ さらに暴れる

# よく聞かれる見立てや解釈や対応方針

『早い者勝ちなんだから仕方ないでしょ！ みんな同じルールでしょ！』  
『お代わりできなかった人は アナタだけじゃないんだよ！』等と叱る

『ルールは分かっているし 仕方ないのは 本人も分かっていると  
思うんですけど ガマンができないというか 幼いというか・・・』

『感情コントロールを身につけさせないと SSTも必要だと思います』

- ➔ やはり「分かっている」という前提で語られることが多い
- ➔ 本人サイドの問題という見立てになっていることが多い

考えてみましょう

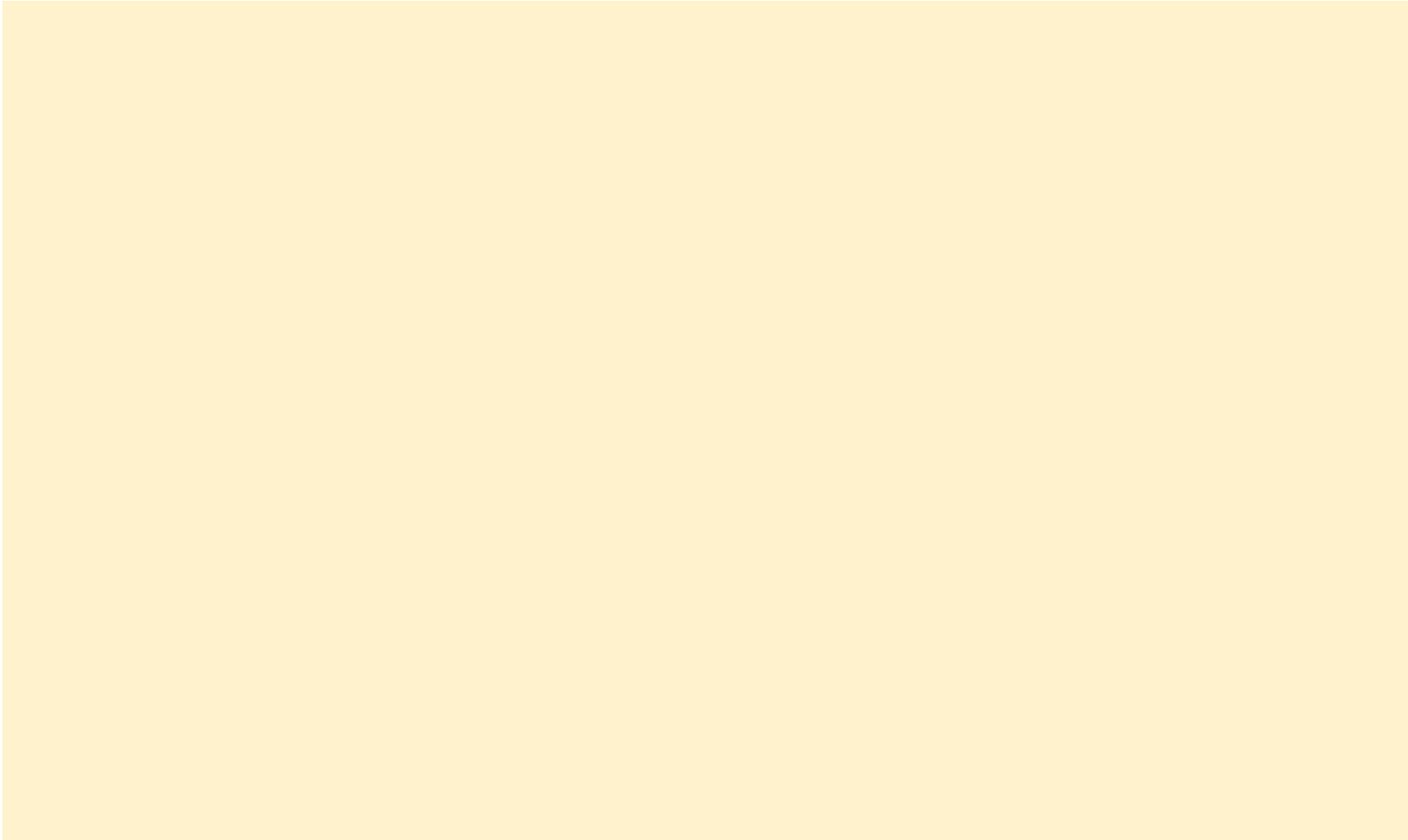
《給食お代わりブチ切れ事件》

→ 同じような事態に直面したとき 私たちはどうやって  
気持ちをコントロールしているのでしょうか？

**なにがブレーキになっているのでしょうか？**

**HOW TO CONTROL YOUR FEELINGS**

# ブレーキとなる情報や状況



# 「分かっている」とはどういうこと？

- 周りが引くかも 後で気まずいのもイヤだし
- 他にもおかわりできなかったヤツいるし
- 食べるの早いヤツが有利じゃんって気もするけど 先生が決めたことだし みんな同じルールだし
- こういう不条理なことも 世の中 あるよね
- たかがプリンで って思われるのもイヤだし
- 泣いてごねるのも なんだか恥ずかしいし
- 休み時間が短くなるのもイヤだし 等々

こういう情報や状況を俯瞰的に理解し 総合的に捉え  
優先順位をつけて整理でき それに基づいて判断できること  
(私たちはさらにこれらを一瞬で行っている)

# 障がい特性として苦手

こういう情報や状況を俯瞰的に理解し 総合的に捉え  
優先順位をつけて整理でき それに基づいて判断できること  
(私たちはさらにこれらを一瞬で行っている)



- 抽象的なこと 意味の理解の苦手さ
- 他者の視点に立つことの苦手さ
- 物事の因果関係をイメージすることの苦手さ
- 全体よりも細部にフォーカスする傾向
- 複数の情報を整理し総合的に判断することの苦手さ

分かってない（かも）から支援が始まる

**決して 本人の力を侮る 馬鹿にする 意図ではありません**

発達障がい（ASD）特性があることによって

真に「分かっている」に成りえていない可能性を・・・

⇒ ちゃんと 分かってあげましょう

⇒ そういう視点と意識を持ちましょう

⇒ そして まずそこへの支援を！

特性を理由に説明できる仮説とは

→ 障がい特性という情報の使いどころ

# あるASD男児の例



あ！ もしかして 「見てきて」 っていう意図が  
ちゃんと伝わらなかったのかも



だって 言葉にされない意図を  
汲み取るのは苦手なんだもの  
だって ASDだもの

**仮説**

(理由となる特性)





# 特性を理由にして説明できる仮説

## お風呂見てきての件

### ASD特性（仮説の理由）

他者の視点に  
立てない  
聴覚情報処理の  
苦手さ  
抽象的なことの  
理解の困難さ 等

### 特性に基づく仮説

「お風呂見てきて」の  
こちらの意図は  
分かってないのでは？

### 行動や言動や状態

「分かった」って  
言ったのに  
見てくれてない！

本人なりに  
理解したことは  
ちゃんとやってる  
(ズレてるけど)

ちゃんと書かれた  
通りにお風呂  
見てきたのに...

???



そのころお風呂に  
いってましたー！



# ASDの特性（ASDの学習スタイル）

- 暗黙的学習の違い
- 聴覚情報処理の違い
- 注意・注目の違い
- 実行機能の違い
- 社会的認知の違い
  - a. 共同注意
  - b. 心の理論
- 感覚情報・刺激の処理の違い



生まれつきの脳のタイプの違い

感じ方や 理解の仕方  
注目の仕方などに違いがある

劣っている 不具合がある  
というより 仕様が異なる



**Android と iOS の違いに似ている**

# 暗黙的学習（自動的・経験的学習）の違い

- ・ **具体的に教えられなくても そのものズバリを経験しなくても  
他の様々な経験や情報等を通じて 自然と習得できること**
  - ・ **世の中の常識 フツーの感覚 暗黙の了解等を学べない**
- 多くの人が感覚的に理解していて 且つ共通認識を持っているような事柄を うまく学べないことがある
- 常識やルール 暗黙の了解等から外れた判断をしやすく 一般的ではない行動や言動が発生しやすい
- 意味理解 応用（汎化）の困難が発生しやすい

# 聴覚情報処理の違い

- 抽象的な意味の理解 概念理解の困難さ
  - 話し言葉の理解の困難さ 字義どおりの捉え方
  - 表現コミュニケーションの苦手さ（言葉はあっても）
  - 情報処理の遅れ
  - 視覚情報処理に強みがある
- 
- ➔ 微妙なニュアンスや意図を共通理解しにくい
  - ➔ コミュニケーション上のすれ違いが起きやすい
  - ➔ 表面的な理解をしやすい（本質を掴めない）

# 注意・注目の違い

- ・ 注意注目が全体よりも細部に向きやすい
  - ・ 俯瞰的 総合的に捉えること 関係性の理解が難しい
  - ・ 注意注目が固着しやすい 過度な注意注目 シフトできない
  - ・ 事実と細部にフォーカスする事の強み
- 
- ➔ 空気が読めない 関連性の低い細部に引っ掛かりやすい
  - ➔ 気持ちも行動も切り替えがスムーズにいかない
  - ➔ 興味関心の向かない事柄に従事しにくい
  - ➔ 固執しやすい パターン化しやすい
  - ➔ 柔軟性に乏しい 思考が厳密になりやすい

# 実行機能の違い

- 様々な事柄を考慮し 優先順位をつけ 判断することの苦手さ
  - 順序立て 整理統合 プランニングの困難さ
  - 開始 終了 切り替え 変更 軌道修正（柔軟性）の困難さ
- 
- ➔ テキパキと行動する 同時進行をすることが苦手
  - ➔ 見通しを持つこと 先を見据えることが苦手
  - ➔ 自らアクションを起こすきっかけをつかめない
  - ➔ テキトーに区切る（終わる）ことの難しさ
  - ➔ 急な出来事 イレギュラーな事に善処できない

# 社会的認知の違い a. 共同注意

- **他者の感情を理解し対応すること 考慮することの困難**
  - **他者の感情に関心を持つこと 共有しようとすることの違い**
  - **社会的なかかわりを開始すること 維持することの困難**
  - **社会的ルールや合図の理解の苦手さ**
- 
- ➔ 適度な人間関係を構築する 維持することが苦手
  - ➔ 他者の心情に対する意識が薄い
  - ➔ 社交辞令等のスキルをうまく扱えない
  - ➔ 雰囲気を読む 空気を読むことの苦手さ

# 社会的認知の違い b. 心の理論

- **他者の視点に立つことの困難**
  - **他者には他者の思考や認知があることへの理解の困難**
  - **他者が自分とは異なる思考を持つことを理解することの困難**
- 
- ➔ 相手の頭の中にある情報を読み違える 考慮できない
  - ➔ 他者に働きかける行動（Communication）が発生しにくい
  - ➔ 他者にどう思われるかという情報をうまく扱えない

# 感覚情報・刺激の処理の違い

- ・ **感覚入力にフィルターを掛けたり 調整することの困難**
  - ・ **視覚 聴覚 嗅覚 味覚 触覚 (人それぞれ)**
  - ・ **バランス感覚 空間認識の苦手さ**
  - ・ **身体の使い方のぎこちなさ 手先の不器用さ**
- 
- ➔ 過敏な反応 嫌悪刺激となって苦しむ
  - ➔ じわじわ消耗 落ち着かない 集中できない 疲労や苛立ち
  - ➔ 感覚情報や刺激に固執 過度に執着
  - ➔ 情報や刺激が溢れている中で選り分けることの苦手さ

# 練習問題（個人・チャット）

Aさん 成人 男性 **ASD** 知的障害無し

- 色々と提案するも すべて「**ASD**だからできない」と拒否
- それなのに要望や不満は多い
- 矛盾していると感じる訴えも多々ある

# 特性を理由にして説明できる仮説

なのに要望は多い件

ASD特性（仮説の理由）

特性に基づく仮説

行動や言動や状態

要望に沿って  
考えているのに  
提案を全て拒否

# 事例検討

グループに分かれて  
ディスカッションをしていただきます

テーマはもちろん

《 特性を理由に説明できる仮説 》

# 検討事例と課題となっている状況

Bさん 成人 女性 ASD 知的障害ボーダー

- 就労や生活等において 色々課題があり 将来に向けて 少しずつ取り組んでいきたいと思いますと説明するも

動き出せない 後で良いことを先にやり始める 些細なことを気にする あれこれと不安になりあちこちに電話する 支援者に馬鹿にされたと不満を訴える 等々

- 收拾がつかず 結局何も進まない



# 特性を理由にして説明できる仮説

それは今じゃない件

ASD特性（仮説の理由）

特性に基づく仮説

行動や言動や状態

大事なことを  
後回し

後で良いことを  
やったり言ったり

# 支援のポイント

1. 特性を理由に説明できる仮説
2. ベースとなる支援
  - ➔ 暗黙や抽象概念の視覚化
  - ➔ 記憶や整理を助ける
  - ➔ 環境の工夫



# 1. 特性を理由に説明できる仮説

---

- 特性を踏まえて・・・

どこがどんなふうに分かっていないか 偏っているのか  
何に気づけていないのか 何に引っ掛かっているのか  
何に奪われているのか 何が抜けているのか ズレてるのか  
等の見立てを行う

**「分かっていないのでは？」から支援は始まる**

## 2. ベースとなる支援

---

- 支援の前提（全てではない）
- 支援者とご本人との共通理解の下準備支援

- ☺ 指導的介入にも下準備支援が必要
- ☺ 信頼関係構築につながる
- ☺ 良好な教える ⇄ 教えられる 関係を作る



# ASDの特性（ASDの学習スタイル）

- 暗黙的学習の違い
- 聴覚情報処理の違い
- 注意・注目の違い
- 実行機能の違い
- 社会的認知の違い
  - a. 共同注意
  - b. 心の理論
- 感覚情報・刺激の処理の違い



抽象概念は視覚化する  
意味のつながり  
関連性の有無も視覚化

視覚的に整理した  
情報を提供する

無関係な刺激・情報や  
嫌悪刺激の除去・軽減

# どんな支援があるといい？

Bさん 成人 女性 ASD 知的障害ボーダー

- 就労や生活等において 色々課題があり 将来に向けて 少しずつ取り組んでいきたいと思いますと説明するも

動き出せない 後で良いことを先にやり始める 些細なことを気にする あれこれと不安になりあちこちに電話する 支援者に馬鹿にされたと不満を訴える 等々

- 收拾がつかず 結局何も進まない



支援のアイデア



# 支援の基本は予防

不適応状態の発生と対応が  
支援実施のきっかけになることはあるが

基本は事後対処よりも 予防

不適応行動の減少・改善をはかるには・・・

不適応行動の減少・改善をはからない

それに代わる適応行動の促進をはかる

幼児期・学齡期からの

ベースとなる支援（下準備支援）の

継続的な実施と積み重ねが重要

終わりに

## もっとも支援が難しいと感じるケース

- 自己否定感が強く 人間不信状態
- 支援者の介入に対し拒否的 猜疑的
- 知的障害の重たいケースも同様
  - － 介入に苛立つ
  - － 指示待ち

本人を変えようとする前に

まずは

本人への働きかけ方を変える

結果的に 本人も変わる

